



保護者会通信

2012年(平成24年)3月1日 No.6

編集・発行
京都ノートルダム女子大学
保護者会事務局
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1
TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707
e-mail: hogoshakai@notredame.ac.jp

50
Since 1962

京都ノートルダム女子大学は創立50周年を迎えました

保護者会による50周年事業への協力

京都ノートルダム女子大学
保護者会会長 北村 茂樹

京都ノートルダム女子大学保護者会は50周年事業
積立金で記念音楽 CD "College Song & Hymns" へ
の製作助成、文化的環境の充実 "茶室整備" への助成、
新校舎の設備への助成を創立50周年記念事業といた
しました。平成23年12月10日(土)の創立50周年記念式
典の当日、懇親会終了後、学長室におきまして、目
録を贈呈させていただきました。

記念音楽 CD "College Song & Hymns" は本学の
学生・教職員はもちろんのこと、創立50周年記念式
典にお越しいただきました皆様にお渡しいたしました。
また、文化的環境の充実 "茶室整備" への助成と
して当日午後2時30分よりお茶室にて庵号扁額の除
幕式並びにお披露目茶会を開かせていただきました。
除幕式には和田理事長様、藪内学長様、茶道部をご
指導くださる茶道裏千家淡交会の政塾先生、茶道部
学生にもご参加いただきました。お披露目茶会には
海外からのお客様も多数ご参加いただき、静寂の中
にも厳粛の内無事終了いたしました。

1994年7月31日にユニソン会館が竣工したと同時に
お茶室も竣工いたしました。

四畳半の本格的なお茶室でありましたが、充分なメン
テナンスにも手が回らず、庵号もないまま17年の
歳月が流れました。京都ノートルダム女子大学が創
立50周年の節目の年を迎えるにあたり、保護者会
は本校学校名の頭にある京都という文字を深く考え、
歴史ある日本の都が残した伝統文化を継承し、伝統

力を知り、学ぶことが国際力を育むと考えました。
そこでお茶室の整備の一環として、茶道裏千家
千宗室お家元に相談したところ、ここよくお茶室
に庵号をいただき、扁額をお茶室に掲げる運びとな
りました。庵号は「神徳庵」です。京都ノートルダ
ム女子大学にあるお茶室にもっともふさわしい庵号
を戴いたと心より喜び、感謝しております。

茶道の言葉に一期一会と敬静寂がございます。
このお茶室でこの言葉をかみしめ、神様のもと教職
員・学生・保護者が一体となり、お互いが知性と徳
を持って成長していく為の自分を見詰め直す場と
して、また心やすらかな居心地のよい所となることと
存じます。

最後になりましたが、保護者会の創立50周年記念
事業の新校舎の設備への助成は保護者会理事会で大学
と協議し、大学が必要とする施設整備を寄贈を行
ないます。

寄贈した設備には
京都ノートルダム
女子大学保護者会
の名前を表示して
創立50周年記念事
業であったこと末
永く知っていただ
く予定であることを
ご報告いたします。



現在、裏千家茶道部は毎週月曜
日に政塾宗代先生のご指導の元、
22名で活動をしております。この
度は本学の創立50周年記念に合
わせ、お茶室に「神徳庵」とい
う素晴らしいお名前をいただきま
した。また、お茶室内もキレイに整
備され部員一同大変嬉しく思っ
ております。

この歴史あるお茶室にて今後も
お茶会を催し、たくさんの方に茶
道を体験していただきたいです。
そして、これからも部員一同協力し
楽しんで茶道を学んでいきたいと
思います。

裏千家茶道部部長
黒木優貴

《創立50周年記念式典等の報告・御礼》

京都ノートルダム女子大学 事務局長 下地 隆

平成23年12月10日(土)に挙行了しました創立50周
年記念式典並びに記念懇親会等を盛会裏に終えるこ
うことができました。これもひとえに保護者会を始め多
数の関係者のご支援の賜物と深く感謝しております。

記念式典(於: 本学ユニソン会館)は、ご来賓の方々
を始め、ノートルダム教育修道女会のシスター方、
保護者会役員・評議員、同窓生、大学関係者など約
280名の来場者を迎え挙行されました。藪内学長、
和田環理事長の挨拶に始まり、中川正春文部科学大
臣(代読: 奈良人司官房審議官)、荒巻禎一京都府
公立大学法人理事長、Sr. Mary Anne Owens,
SSNDノートルダム教育修道女会セントラル・パシ
フィック管区長よりご祝辞を賜りました。引き続き、
カトリック京都司教区パウロ大塚喜直司教の司式に
よるミサ聖祭が行われ記念式典は終了しました。

なお、記念式典参加者全員に「創立50周年記念誌」
を配付しました。

記念式典の後、記念懇親会(於: 本学食堂)が開催
されました。学長挨拶に続き、門川大作京都市長
(代読: 細見吉郎副市長)、河田梯一日本私立学校振
興・共催事業団理事長、Dr. Mary Pat Seurkamp
メリーランド・ノートルダム大学学長よりご祝辞を
賜りました。お祈りの後、梶田叡一元学長による乾
杯で歓談に入り、蒔苗暢夫副学長の謝辞により終了
しました。

記念懇親会終了後、学長室において、保護者会か
ら創立50周年記念寄付金の目録贈呈が行われ、学長
から保護者会に対し、厚く謝辞が述べられました。

その後、お茶室において、ノートルダム教育修道
女会セントラル・パシフィック管区長、理事長、学
長、保護者会会長等による庵号除幕があり、裏千家
千宗室家元より頂戴した庵号「神徳庵」が披露され
ました。

また、当日は、「記念ホームカミングデー」も開催



され、中井恭子同窓会会長のご挨拶に始まり、ユー
ジニア館お別れ式として同館の歴史を偲ぶスライド
ショーが紹介されました。その後、シスターメリー
マイクル田代第2代学長、梶田叡一第5代学長、相良
憲昭第6代学長を始め、卒業生の代表の皆様から懐
かしい思い出等が語られました。また、学生サークル
「京炎そでふれ! 輪舞曲」による演目披露など、
多くの卒業生・教職員が集い旧交を温め合いました。

平成24年2月〜3月
現ユージニア館3階
旧ユージニア寮の間
仕切改修
24年4月〜5月
改修した場所に、現
ユージニア館南側研
究室、事務室(学生
課、キャリアセンター、
保健室等)を移転

その後、26年11月ま
でに外構工事を終えて
本学の50周年記念事業
としての北山キャン
パス総合整備計画が完結
します。その際には、
学生の学習満足度を大
きく高め、耐震性も充
分な施設として、学生・



完成予想図

北山キャンパス総合
整備計画については、
大学と小学校による
「北山キャンパス計画推
進合同会議」を軸に、
大学としては「北山キャン
パス整備事業小委員会」
及び「新ユージニア館
WG」において、設計
段階から学生、教職員
の意見要望を集約しつ
つ、より望ましい施設
建設を目指して精力的
に検討を進めています。
既に工事施行業者も決
定しましたが、今後の
工事工程は次のよう
なっています。

26年8月〜10月
現ユージニア館北側
解体工事

教職員の安全性・快適
性が一挙に改善できる
予定となっています。
工事期間中において
は、引き続き、京都工
芸繊維大学におけるノ
ートルダム館及び同大
学の一部施設の利用に
よる、学生の皆さんの授
業や学園生活に支障の
ないよう対処していく
所存でございますので、
保護者会の皆様のご理
解とご協力をお願い申
上げます。

今後のキャンパス整備計画について



談話室

創立50周年記念事業
「北山キャンパス総合整
備計画」の一環として、
本学敷地内に建設が進
められてきた複合教育
施設「キャロライン館
(RC造、地上4階塔屋1
階)」が、平成23年11
月に竣工しました。同館
は、1階にマリアンハ
ウス(同窓会館)、キャン
パスミニホール、キャン
パスミニストリー室、
キャロライン寮(学生
寮)事務室が入り、2

2人部屋



個室

階から4階はキャロラ
イン寮80人収容、個室
24室、2人部屋28室を
備えており、快適な設
備を整えた魅力ある施
設となっています。

キャロライン館の竣工について

